

IMAGE FORMING DEVICE

Patent Number: JP2000231279
Publication date: 2000-08-22
Inventor(s): TOYOHARA YUICHIRO
Applicant(s): CANON INC
Requested Patent: ☐ JP2000231279
Application Number: JP19990031709 19990209
Priority Number(s):
IPC Classification: G03G15/16; G03G9/09; G03G15/00; G03G15/01; G03G15/08
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an image forming device high in operating speed, small in size, low in cost and capable of improving the image quality by lowering granular feeling in a lower density part while keeping the merits of the binary image.

SOLUTION: In this image forming device provided with an intermediate transfer belt of 4-drums tandem type, respective photoreceptor drums 1a, 2a, 3a and 4a are provided with light color developing devices 1c1, 2c1, 3c1 and 4c1 and dark color developing devices 1c2, 2c2, 3c2 and 4c2 having the same spectroscopic characteristics to perform a multiple transfer processing. In such a manner, the granular feeling at the low density part is lowered by reducing the density per 1 dot while maintaining reproducibility of 1 dot by using the light color toner. Besides, by using the dark color toner at the high density part, the increase of necessary toner quantity is prevented.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-231279
(P2000-231279A)

(43)公開日 平成12年8月22日(2000.8.22)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
G 0 3 G 15/16		G 0 3 G 15/16	2 H 0 0 5
9/09		15/00	3 0 3 2 H 0 2 7
15/00	3 0 3	15/01	1 1 3 A 2 H 0 3 0
15/01	1 1 3	15/08	5 0 3 C 2 H 0 3 2
15/08	5 0 3	9/08	3 6 1 2 H 0 7 7
審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 10 頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願平11-31709

(22)出願日 平成11年2月9日(1999.2.9)

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 豊原 裕一郎

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内

(74)代理人 100075638

弁理士 倉橋 暎

Fターム(参考) 2H005 AA21 CA21 EA07 FC01

2H027 DD05 EB04 FA30 ZA10

2H030 AB02 AD01 AD06 BB23 BB42

2H032 BA03 BA05 BA09

2H077 BA10 GA13

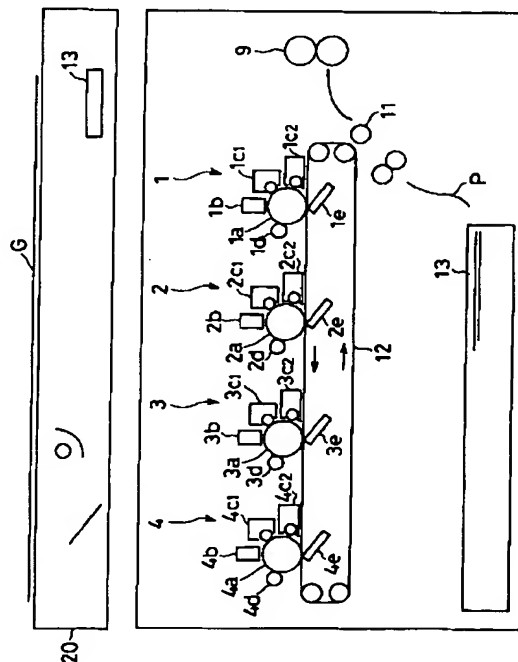
9A001 HH25 HH31 JJ35 KK42

(54)【発明の名称】 画像形成装置

(57)【要約】

【課題】 2値画像の長所を生かしたままで、低濃度部における粒状感を低減し、画質の向上を達成できる高速、小型、安価の画像形成装置を提供する。

【解決手段】 4ドラムタンデムタイプの間転写ベルトを備えた画像形成装置において、各感光ドラム1a、2a、3a、4aに対して、同一分光特性の淡色トナー用と、濃色トナー用の現像装置1c1、1c2; 2c1、2c2; 3c1、3c2; 4c1、4c2を設け、中間転写ベルト12に多重転写を行う。これによって、低濃度部においては淡色トナーを用いて1ドットの再現性を保った上で1ドット当たりの濃度を下げ、粒状感を低減する。一方、高濃度部においては濃色トナーを用いることで必要トナー量の増加を防ぐことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の像担持体上にそれぞれ静電潜像を形成し、該静電潜像を異なる色の現像剤で現像して画像を形成し、該画像を中間転写体に重ねて1次転写し、更に転写材に2次転写する画像形成装置において、前記各像担持体に対してそれぞれ単数または複数の現像手段を設け、一つの前記像担持体に設けた前記現像手段と同数の回数だけ前記一つの像担持体から前記中間転写体に1次転写を行うことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】 前記一つの像担持体に対して複数の現像手段が設けられている場合に、前記複数の現像手段のうちの少なくとも一つには、淡色トナーが装填され、残る前記現像手段のうち少なくとも一つには、濃色トナーが装填されている請求項1の画像形成装置。

【請求項3】 前記淡色トナーは、転写材上でのトナー量が $0.5\text{mg}/\text{cm}^2$ につき光学濃度が1.0未満であるように顔料を調整しているトナーであり、前記濃色トナーは、転写材上でのトナー量が $0.5\text{mg}/\text{cm}^2$ につき光学濃度が1.0以上であるように顔料を調整しているトナーである請求項2の画像形成装置。

【請求項4】 前記淡色トナーが装填された現像手段は、前記像担持体の回転方向に関して、前記濃色トナーが装填された現像手段の上流にある請求項1、2、または3の画像形成装置。

【請求項5】 同一像担持体に設けられた前記現像手段には、同一分光特性を有するトナーが装填されている請求項1から4のいずれかの画像形成装置。

【請求項6】 画像形成モードとして速度優先モードと画質優先モードとを有し、前記速度優先モードの場合には前記濃色トナーのみにて画像形成を行い、単一の前記像担持体から前記中間転写体への1次転写は1回のみとする請求項1、2、3、または5の画像形成装置。

【請求項7】 一つの前記像担持体に対して複数の現像手段が設けられている場合、少なくとも一つの前記現像手段には、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックのトナーが装填されており、残りのうちの少なくとも一つの前記現像手段には、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック以外の分光特性を示す特色トナーが装填されており、どのような分光特性をもつ特色トナーが装填された現像手段が具備されていることを検知する検知手段を具備し、検知された分光特性によって画像処理を切り替える請求項1の画像形成装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えば複写機あるいはプリンタなどとされる電子写真方式の画像形成装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 現在、中間転写体を用いた画像形成装置が多数開発されている。又、中間転写体を用いた画像形

成装置は、フルカラー画像形成装置等へも展開されている。

【0003】 その一例としては、1つの像担持体としての感光ドラムと、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの4色のトナーをそれぞれ現像する4つの現像装置（現像手段）とを具備したフルカラー画像形成装置がある。

【0004】 このような構成のフルカラー画像形成装置の動作においては、まず、1次帯電装置によって感光ドラム上を均一に帯電し、そこに、入力された画像信号に応じてレーザー等の露光装置を点灯させ、感光ドラム上を露光して感光ドラム上に静電潜像を形成する。このときの静電潜像を形成する色の順序は、装置により異なるが、例えば、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順の場合には、感光ドラム上の静電潜像をまずイエローのトナーにより現像し、次いで、顕画化されたトナー像を中間転写体上に転写する（1次転写）。

【0005】 ここまでのプロセスを各色毎に4回繰り返し、中間転写体上にフルカラーのトナー像を形成する。そのフルカラーのトナー像を転写材上に転写し（2次転写）、最後に、トナー像の載った転写材を定着器を通して定着させ、機外に排紙する。

【0006】 このようなプロセスを行うことにより、フルカラーの画像を、高精細に再現することが可能となる。また、中間転写体を用いることにより様々な転写材に対応することが可能となっている。

【0007】 一方、高速のフルカラー画像形成装置には、4ドラムタンデム方式が用いられている。これは、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの4色毎に感光ドラム、帯電装置、露光装置、現像装置を備え、これらを紙送り方向に直列に並置し、画像形成を行うものである。この構成は、4色を同時に画像形成することが可能なため、画像出力速度に優れているという特長がある。

【0008】 また、4ドラムタンデム方式の露光装置には、装置小型化、簡略化のためLEDアレイを用いているものもある。現在、LEDアレイを用いた露光装置の場合、1ドット当たり2値で画像形成する場合が多い。

【0009】 そして、上述した中間転写体を用いた画像形成装置と4ドラムタンデム方式を同時に実現した構成も考えられている。

【0010】 図8にこの構成のカラー画像形成装置の一例を示す。このカラー画像形成装置は、4つの画像形成ステーション101、102、103、104が紙送り方向に直列に並置されており、各画像形成ステーション101～104には、それぞれ像担持体である感光ドラム101a、102a、103a、104a、露光装置101b、102b、103b、104b、現像装置101c、102c、103c、104c、クリーニング装置101d、102d、103d、104d、および1次転写装置101e、102e、103e、104e

を備えている。

【0011】また、各画像形成ステーション110～104の感光ドラム101a～104aと1次転写装置101e～104eとの間を通るように、中間転写体である中間転写ベルト112が矢印方向に移動可能に配置されている。

【0012】上記構成にて、まず、原稿台ガラス120上に載置された原稿Gをスキャンし、原稿情報をCCD113により電気的信号に変換し、画像処理を施した後、LEDを駆動させ、一様に帯電された感光ドラム101aに静電潜像を形成する。

【0013】LED露光により形成された静電潜像を現像装置101cによりトナー像として現像する。このトナー像を1次転写装置101eにより中間転写ベルト112に1次転写する。

【0014】上記と同様の処理を第2～第4画像形成ステーション102～104においても行い、中間転写ベルト112上に4色のトナーを重ねた画像が形成される。

【0015】一方、給紙カセット113から搬送されてきた転写材P上に2次転写装置111によって2次転写した後、定着装置109により定着し機外に排紙する。

【0016】

【発明が解決しようとする課題】ここで、1ドット当たり2値で再現する画像（以後、「2値画像」という）について述べる。

【0017】2値画像の特徴としては、画像データ量が少ない、画像の安定性が良い、という2点が大きく挙げられる。画像データ量が少ないことにより、データの可搬性や保存性が向上し、画像加工の点でも有利である。また、2値画像は、画像の安定性を向上することができるために、画像形成装置の制御を多値の画像形成装置に比べ簡略化することができるという利点もある。

【0018】しかしながら、2値画像は粒状感が大きくなるという欠点がある。

【0019】そこで2値画像は、画像情報量の低減や、画像安定性の向上という大きな特徴を生かしつつ、粒状感を低減させ、画質の向上を達成することが大きな課題となっている。

【0020】2値画像の場合における粒状感は、低濃度部において顕著になる。このことに対しては、1ドットのサイズを小さくする、あるいは、1ドットの濃度を薄くするなどの対策が考えられる。

【0021】1ドットのサイズを小さくする場合は、電子写真の特性上1ドットの再現性が悪くなり、1ドットのサイズがばらつき易くなるという問題がある。

【0022】また、1ドットの濃度を薄くする場合には、低濃度のトナーを用いることになり、そのトナーで、高濃度を表現する場合に、必要トナー量が多くなるという問題がある。

【0023】4ドラムタンデム方式プラス中間転写体を用いた系の場合、LED露光を採用すると、前述の通り、1ドット当たり2値の出力になることが多い。

【0024】高速、小型、安価のフルカラー画像形成装置において、2値画像の長所を生かしたままで、低濃度部における粒状感を低減し、画質の向上を図ることが大きな課題である。

【0025】また、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの4色では再現できない色が存在し、電子写真において再現色範囲が狭いという課題もある。

【0026】従って、本発明の主な目的は、2値画像の長所を生かしたままで、低濃度部における粒状感を低減し、画質の向上を達成できる高速、小型、安価の画像形成装置を提供することである。

【0027】本発明の他の目的は、再現色範囲の広い画像形成装置を提供することである。

【0028】

【課題を解決するための手段】上記目的は本発明に係る画像形成装置にて達成される。要約すれば、本発明は、複数の像担持体上にそれぞれ静電潜像を形成し、該静電潜像を異なる色の現像剤で現像して画像を形成し、該画像を中間転写体に重ねて1次転写し、更に転写材に2次転写する画像形成装置において、前記各像担持体に対してそれぞれ単数または複数の現像手段を設け、一つの前記像担持体に設けた前記現像手段と同数の回数だけ前記一つの像担持体から前記中間転写体に1次転写を行うことを特徴とする画像形成装置である。

【0029】前記一つの像担持体に対して複数の現像手段が設けられている場合に、前記複数の現像手段のうちの少なくとも一つには、淡色トナーが装填され、残る前記現像手段のうち少なくとも一つには、濃色トナーが装填されていることが好ましい。前記淡色トナーは、転写材上でのトナー量が 0.5 mg/cm^2 につき光学濃度が1.0未満であるように顔料を調整しているトナーであり、前記濃色トナーは、転写材上でのトナー量が 0.5 mg/cm^2 につき光学濃度が1.0以上であるように顔料を調整しているトナーであることが好ましい。前記淡色トナーが装填された現像手段は、前記像担持体の回転方向に関して、前記濃色トナーが装填された現像手段の上流にあることが好ましい。同一像担持体に設けられた前記現像手段には、同一分光特性を有するトナーが装填されていることが好ましい。

【0030】画像形成モードとして速度優先モードと画質優先モードとを有し、前記速度優先モードの場合には前記濃色トナーのみにて画像形成を行い、単一の前記像担持体から前記中間転写体への1次転写は1回のみとすることが好ましい。

【0031】一つの前記像担持体に対して複数の現像手段が設けられている場合、少なくとも一つの前記現像手段には、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックのトナ

ーが装填されており、残りのうちの少なくとも一つの前記現像手段には、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック以外の分光特性を示す特色トナーが装填されており、どのような分光特性をもつ特色トナーが装填された現像手段が具備されていることを検知する検知手段を具備し、検知された分光特性によって画像処理を切り替えることが好ましい。

【0032】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る画像形成装置を図面に則して更に詳しく説明する。

【0033】実施例1

本発明の第1実施例について図1～図6により説明する。

【0034】本実施例の画像形成装置には、図1に示すように、4つの画像形成ステーション1、2、3、4が紙送り方向に直列に並置されており、各画像形成ステーション1～4には、それぞれ像担持体である感光ドラム1a、2a、3a、4a、露光装置1b、2b、3b、4d、第1現像装置（第1現像手段）1c1、2c1、3c1、4c1、第2現像装置（第2現像手段）1c2、2c2、3c2、4c2、クリーニング装置1d、2d、3d、4d、および1次転写装置1e、2e、3e、4eを備えている。

【0035】また、各画像形成ステーション1～4の感光ドラム1a～4aと1次転写装置1e～4eとの間を通るように、中間転写体である中間転写ベルト12が矢印方向に移動可能に配置されている。

【0036】第1現像装置1c1～4c1には、それぞれイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの4色について、転写材上のトナー量が $0.5\text{mg}/\text{cm}^2$ のときに定着後の光学濃度が0.8になるように設計されているトナー（以下、「淡色トナー」という）が装填され、第2現像装置1c2～4c2には、転写材上のトナー量が $0.5\text{mg}/\text{cm}^2$ のときに、定着後の光学濃度が1.6になるように設計されているトナー（以下、「濃色トナー」という）が装填されている。

【0037】なお、上記淡色トナーは、転写材上でのトナー量が $0.5\text{mg}/\text{cm}^2$ につき光学濃度が1.0未満であるように顔料を調整しているトナーとし、上記濃色トナーは、転写材上でのトナー量が $0.5\text{mg}/\text{cm}^2$ につき光学濃度が1.0以上であるように顔料を調整しているトナーとしてもよい。

【0038】また、感光ドラムの矢印にて示す回転方向に関して、第1現像装置1c1～4c1が第2現像装置1c2～4c2の上流側にそれぞれ配設されている。

【0039】本画像形成装置における動作の基本的なフローチャートを図2に示す。

【0040】本画像形成装置は、画質優先モードと速度優先モードの2つの画像形成モードを備えている。基本的には、速度優先モードに設定されており、オペレータ

の操作により画質優先モードに変更することができる。

【0041】画像形成がスタートすると（S1）、画像形成モードが上記何れのモードかを判断し（S2）、速度優先モードのときには（S3）、第2現像装置1c2～4c2により濃色トナーによる画像形成を行い（S4）、画像を出力する（S5）。

【0042】一方、S2にて画質優先モードが選択されたときには（S6）、第1現像装置1c1～4c1による淡色トナー画像形成（S7）と、第2現像装置1c2～4c2による濃色トナー画像形成を行い（S8）、画像を出力する（S5）。

【0043】ここで、オペレータが、速度優先モードを選択した場合についての動作を更に説明する。

【0044】まず、原稿台ガラス20上に載置された原稿Gをスキャンし、原稿情報をCCD13により電気的信号に変換し、A/D変換装置（不図示）によりデジタル信号化する。

【0045】デジタル信号化されたデータを画像処理ブロックで加工し、RGB信号をCMYK信号に色変換した後、ガンマ補正を行い、淡色トナー用LUT変換を行った後、最後に2値化を行う。その2値化された画像データをLEDドライバに転送し、LEDを駆動させ画像形成を行う。

【0046】本画像形成装置は、画像メモリを4色分具備しており、1回のリーダーズキャンで4色分の2値化後の画像データをストアできる。

【0047】LED露光により形成された静電潜像を第2現像装置1c2～4c2によりトナー像として現像する。このトナー像を1次転写装置1e～4eにより中間転写ベルト12に1次転写し、給紙カセット13から搬送されてきた転写材P上に2次転写装置11によって2次転写した後、定着装置9により定着し機外に排紙する。

【0048】このように、速度優先モード時には、本画像形成装置では、 30cmp （1分間当たりA4サイズ用紙を30枚画像出力）を達成している。しかし、低濃度部における1ドットの粒状感はやや大きくなっている。

【0049】つぎに、画質優先モードを選択したときの動作について説明する。図3にそのときの画像信号の流れを示す。

【0050】まず、原稿台ガラス20上に載置された原稿Gをスキャンし（S11）、原稿情報をCCD13により電気的信号に変換し（S12）、A/D変換装置（不図示）によりデジタル信号化する（S13）。

【0051】デジタル信号化されたデータを画像処理ブロックで加工し（S14）、RGB信号をCMYK信号に色変換した後（S15）、ガンマ補正（S16）、淡色トナー用ルックアップテーブル（以下、「LUT」という）変換処理を行い（S17）、最後に2値化を行う

(S18)。図4に淡色トナー用LUTを示す。

【0052】その2値化された画像データを画像メモリとして(S19)、D/A変換し(S20)、LEDドライバーに転送し(S21)、LEDを駆動させ画像形成を行う。

【0053】LED露光により作られた静電潜像に、淡色トナー用である第1現像装置1c1~4c1によりトナー像を現像する。こうして形成されたトナー像を1次転写装置1e~4eにより、中間転写ベルト12に1次転写する。

【0054】このように、淡色トナー用LUT変換処理を行うことにより、読み取り画像信号の低濃度部においては、淡色トナーを積極的に用いることになる。つまり、低濃度部においては、1ドットの濃度が低くなり、2値画像の欠点であった1ドットの粒状度を低減することが可能となる。

【0055】つぎに、2回目の原稿スキャンを行う(S22)。2回目の画像形成時には、メモリの都合上、再度リーダースキャンを行う必要がある。2回目のスキャン時の画像信号は、1回目とガンマ補正までは同様に処理される(S23~S27)。その次に、濃度トナー用LUT変換処理を行い(S28)、2値化する(S29)。その2値化された画像データを画像メモリとして(S30)、D/A変換し(S31)、LEDドライバーに転送し(S32)、LEDを駆動させ画像形成を行う。図5には、濃色トナー用LUTを示す。

【0056】LED露光により作成された静電潜像に、濃度トナー現像装置1c2~4c2によりトナー像を現像する。こうしてできたトナー像を1次転写装置1e~4eにより、淡色トナーによるトナー像が形成されている中間転写ベルト12上に再び1次転写し、濃淡トナーによるトナー像を形成した後、給紙カセット13から給紙されてきた転写材Pに2次転写装置11によって2次転写し、定着装置9により定着し、排紙する。

【0057】上記のようにして、濃淡トナーによる画像形成が可能となる。

【0058】また、本実施例においては、上記のごとく高濃度部には濃色トナーにより画像形成することにより、高濃度部においては、トナー量を抑えて濃度を満たすことが可能となる。

【0059】上記構成により、速度優先モード時には、濃色トナーのみの使用により、30cpm、つまり1分間にA4サイズの手紙を30枚出力することが可能となり、また、画質優先モード時には、中間転写体を2周させるので、16cpmの出力速度になるが、1ドットの粒状感を低減することができ、高画質化の達成が可能になる。

【0060】実施例2

つぎに、本発明の第2実施例について図6と図7により説明する。

【0061】本実施例においては、第1実施例における第1現像装置、つまり淡色トナー現像装置の位置に、特色トナー現像装置を入れ替えることが可能となっている。ここで、特色トナーとは、金色や銀色、赤色、緑色等の分光特性を示すトナーである。

【0062】なお、本実施例の画像形成装置は、不図示の現像装置検知手段により現像装置にどのような分光特性の、つまり何色のトナーが充填されているかを検知することが可能になっている。

【0063】本実施例における画像形成モードの構成を図6に示す。同図に示すように、本実施例の画像形成モード40は、速度優先モード41と画質優先モード42とからなり、速度優先モード時には、ノーマルモード43と、特色モード44が選択でき、画質優先モード時には、ノーマルモード45と、特色トナー合成モード46が選択できる。

【0064】但し、画質優先モード42の場合は、現像装置検知手段の検知結果によって、ノーマルモード45と特色トナー合成モード46のどちらかのみの設定になる。

【0065】図7に画像信号の流れを示す。同図において、まず、原稿台ガラス20上に置かれた原稿Gをスキャンし(S51)、原稿情報をCCD13により電気信号に変換し(S52)、A/D変換装置によりデジタル信号化する(S53)。

【0066】デジタル信号化されたデータを、原稿画像の特色領域、例えば金色領域を判定し、その部分を抜き出した後(S54)、画像処理ブロックで加工する(S55)。その領域の画像信号のみを特色信号に変換した後、ガンマ補正を行い(S56)、2値化を行う(S57)。その2値化された画像データを画像メモリとして(S58)、D/A変換した後(S59)、LEDドライバーに転送し(S60)、LEDを駆動させ画像形成を行う。

【0067】LED露光により作られた静電潜像に、特色トナー現像装置1c1~4c1により特色トナー像を現像する。こうしてできたトナー像を1次転写装置1e~4eにより、中間転写ベルト12に1次転写する。

【0068】このようにして、まず特色領域を読み取り、中間転写ベルト12上にトナー像を形成する。

【0069】つぎに、2回目の原稿スキャンを行う。2回目の画像形成時には、メモリの都合上、再度リーダースキャンを行う必要がある。

【0070】2回目のスキャン時には(S61)、1回目のスキャンで金色部分と判定した領域以外についての画像信号に対してデジタル信号化されたデータを画像処理ブロックで加工し(S62~S65)、RGB信号をCMYK信号に色変換した後(S66)、ガンマ補正処理を行い(S67)、最後に2値化を行う(S68)。その2値化された画像データを画像メモリとして(S6

9)、D/A変換し(S70)、LEDドライバに転送して(S71)、LEDを駆動させ画像形成を行う。

【0071】LED露光により静電潜像に、濃色トナー現像装置1c2~4c2によりトナー像を現像する。こうして、できたトナー像を1次転写装置1e~4eにより、特色トナーによるトナー像を形成されている中間転写ベルト12上に再び1次転写した後、給紙カセット13から搬送された転写材P上に2次転写装置11によって2次転写し、定着装置9により定着し、機外に排紙する。

【0072】上記構成によれば、原稿画像に金色等の、通常イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの4色のトナーでは再現できないような色が存在した場合には、その色の特色トナーを用いることで、再現することが可能となる。

【0073】なお、特色トナー合成モード時には、16cpmになるが、それ以外のモードでは、30cpmが達成できる。

【0074】また、緑色や、赤色等の特色トナーを用いた場合も同様に画像形成することができ、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの4色のトナーと比べて、色再現範囲を広くすることが可能となる。

【0075】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明によれば、複数の像担持体に対してそれぞれ単数または複数の現像手段を設け、一つの前記像担持体に設けた前記現像手段と同数の回数だけ前記一つの像担持体から前記中間転写体に1次転写を行うことにより、2値画像の長所を生かしたままで、低濃度部における粒状感を低減し、画質の向上を達成できる高速、小型、安価の画像形成装置を提供できる。

【0076】また、一つの前記像担持体に対して複数の現像手段が設けられている場合、少なくとも一つの前記現像手段には、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック

のトナーが装填されており、残りのうちの少なくとも一つの前記現像手段には、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック以外の分光特性を示す特色トナーが装填されており、どのような分光特性をもつ特色トナーが装填された現像手段が具備されていることを検知する検知手段を具備し、検知された分光特性によって画像処理を切り替えることにより、再現色範囲の広い画像形成装置を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例の画像形成装置を示す概略構成図である。

【図2】第1実施例の画像形成モードにおける選択の流れを示すフロー図である。

【図3】第1実施例の画質優先モードにおける画像信号の流れを示すフロー図である。

【図4】第1実施例における淡色トナー用LUTを示す概念図である。

【図5】第1実施例における濃色トナー用LUTを示す概念図である。

【図6】第2実施例における画像形成モードを示す説明図である。

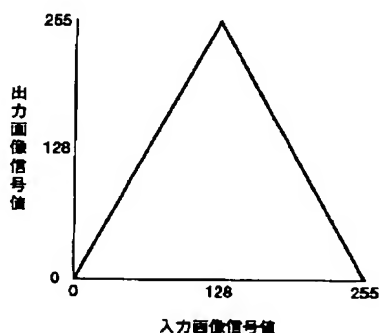
【図7】第2実施例における画像信号の流れを示すフロー図である。

【図8】従来の中間転写体を用いた画像形成装置の一例を示す概略構成図である。

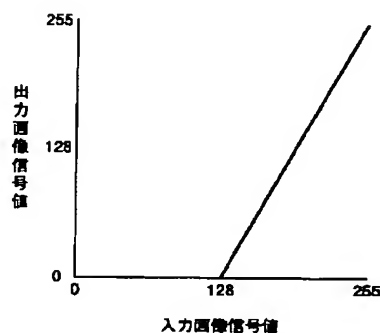
【符号の説明】

1a、2a、3a、4a 感光ドラム(像担持体)
1c1、2c1、3c1、4c1 第1現像装置(淡色トナー用)
1c2、2c2、3c2、4c2 第2現像装置(濃色トナー用)
12 中間転写ベルト(中間転写体)

【図4】

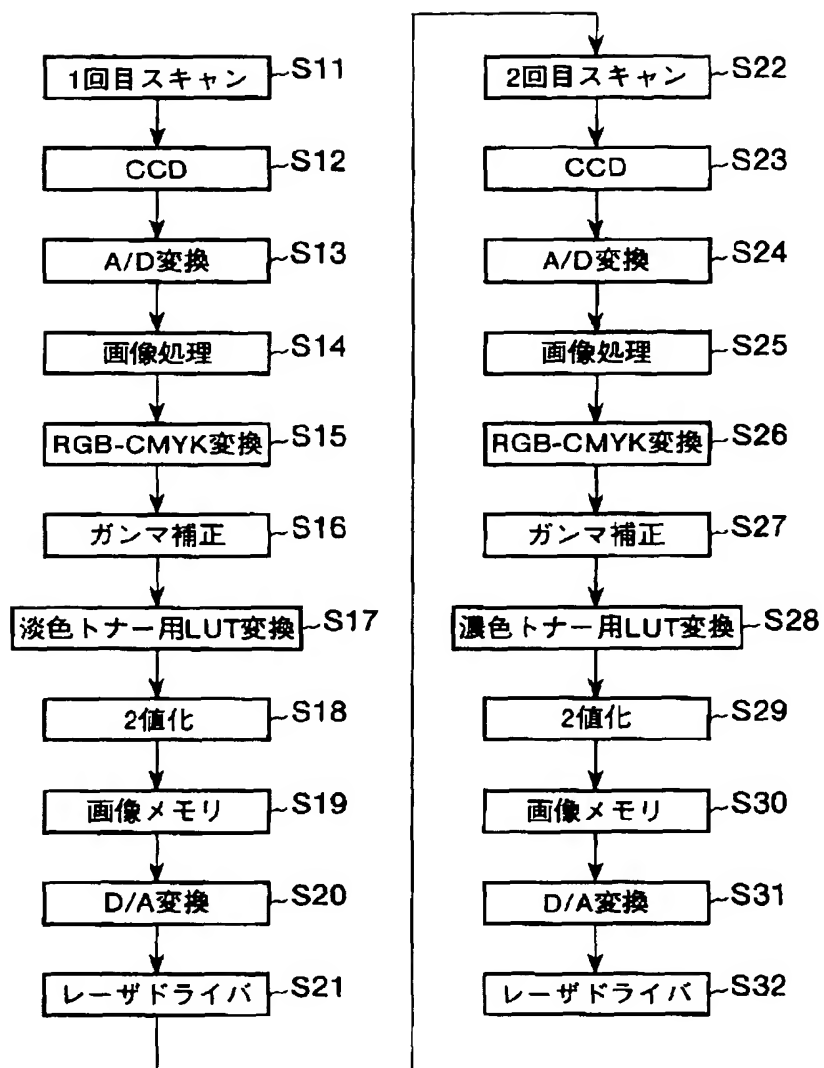


【図5】

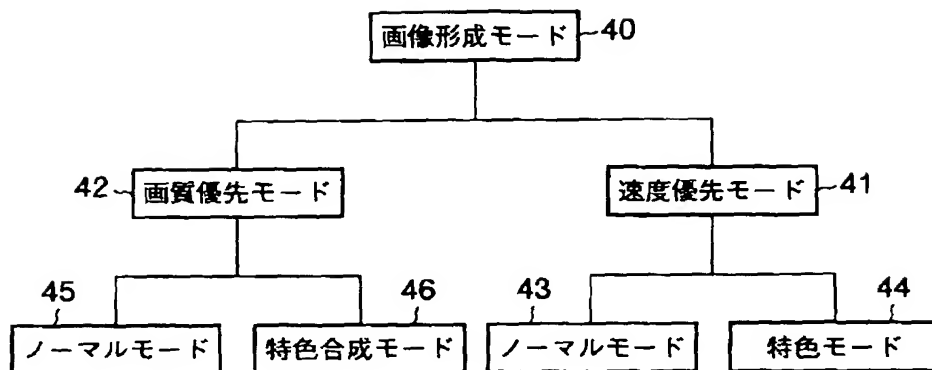




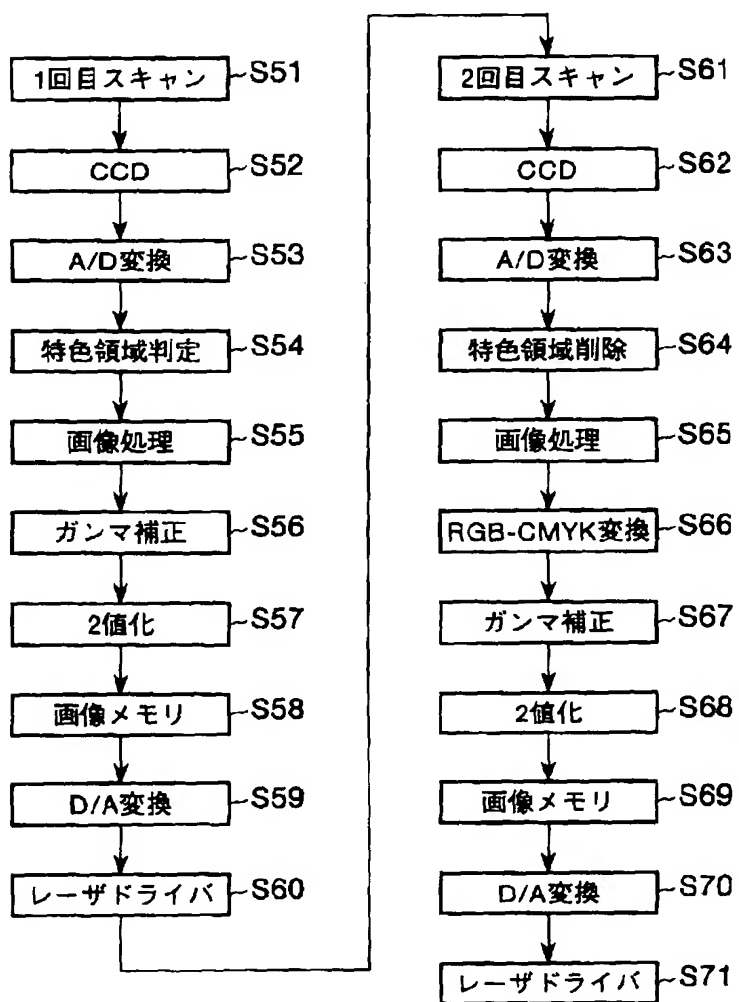
【図3】



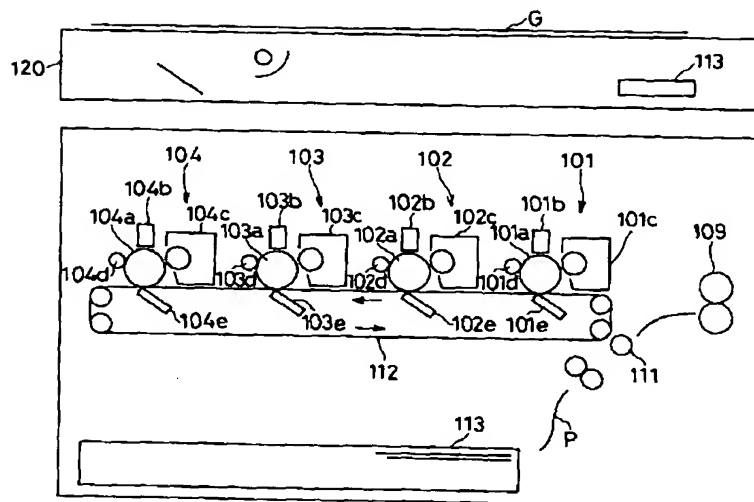
【図6】



【図7】



【図8】



フロントページの続き

(51)Int. Cl.⁷

識別記号

F I

サーチコード (参考)
9 A 0 0 1